

KeyServer 動作環境

OS	エディション	サービスパック/ バージョン	KeyServer (サーバー)	KeyConfigure (管理者)	KeyAccess ※3 (クライアント)
Windows (x86)	7	Professional Enterprise Ultimate	未適用 SP1	●	●
	8	Pro Enterprise	未適用	●	●
	8.1	Pro Enterprise	未適用	●	●
	10 ※2 ※6	Pro Enterprise	1507～22H2	●	●
	Server 2008 ※1	Standard Enterprise	SP1 SP2	●	●
Windows (x64)	7	Professional Enterprise Ultimate	未適用 SP1	●	●
	8	Pro Enterprise	未適用	●	●
	8.1	Pro Enterprise	未適用	●	●
	10 ※2 ※6	Pro Enterprise	1507～22H2	●	●
	11 ※2 ※4 ※6	Pro Enterprise	21H2～24H2	●	●
	Server 2008 ※1	Standard Enterprise	SP1 SP2	●	●
	Server 2008 R2 ※1	Standard Enterprise	未適用 SP1	●	●
	Server 2012 ※1	Standard	未適用	●	●
	Server 2012 R2 ※1	Standard	未適用	●	●
	Server 2016 ※1	Standard	未適用	●	●
	Server 2019 ※1	Standard	未適用	●	●
	Server 2022 ※1	Standard	未適用	●	●
	Mac OS X	10.11			●
macOS	10.12 ~ 15 ※5			●	●
備考	<p>「●」：対応 「空欄」：非対応</p> <p>※1 Server Coreインストールで利用している場合は、動作保証対象外です。</p> <p>※2 Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です。 「コントラストテーマ」を使用した場合、UIの表示が非常に見づらい状態となります</p> <p>※3 Windows Vista、Mac OS X 10.9, 10.10では、導入済みのKeyAccess7.6を継続してv7.6のサポート期限までKeyServer7.8と合わせて利用可能です。v7.8で追加・変更となった機能は利用できません。</p> <p>※4 Windows 11(23H2)以降では、以下の制限があります。 ・「コンピューター」の「OS種類」「OSファミリー」「OSバージョン」が正常に表示されません。「OSバージョン」のBuild番号によりWindows 11 Ver.23H2以降の識別をお願いします。</p> <p>※5 macOSでは、以下の制限があります。 ・「チャート」-「ヒストグラム (PLCY)」で出力したレポートに、ウインドウを拡大縮小した場合、レポートの一番下にレポートの文字とウインドウの文字が重なって表示されます。</p> <p>※6 Windowsでは、以下の制限があります。 ・Windowsデスクトップの設定の拡大/縮小を「125%」以上にするとチャート系のレポート画面の一部が切れて表示されます。 ・keyCheckoutの画面でポリシー名が長い場合、文字切れが発生します。</p> <p>・日本語OSのみ対応です。 ・各OSについては、本製品が対応している最新のサービスパックを適用することを推奨します。 万が一、旧サービスパックにて動作上の問題が発生した場合は、最新サービスパックの適用をお願いします。</p>				

KeyServer

必要メモリ・ディスク容量

	CPU		メモリ	ディスク
KeyServer (サーバー)	Windows	Pentium133MHz 以上 Pentium4以上推奨	2MB以上 ※1	4GB+1GB ※2
KeyConfigure (管理者)	—	—	—	Windows:85MB+1GB ※3 Mac:150MB+1GB ※3
KeyAccess (クライアント)	—	—	—	Windows:3MB Mac:6MB
備考	<p>※1 KeyServerで占有するメモリで、1000クライアント以下の場合です。 1000クライアント以上は、追加メモリ1KB/1クライアントです。</p> <p>※2 1GBは1000クライアントでの、6ヶ月間の使用量です。</p> <p>※3 1GBは、レポート作成時の一時ファイル用です。</p> <p>・ 弊社の他サーバー製品（QND等）や他社サーバー製品（Fileサーバー、Mailサーバー、WSUSサーバー、DBサーバー等）との同居は、負荷によるサーバートラブルの可能性があるので、原則として推奨していません。</p>			

仮想化環境、仮想化アプリケーション

	製品	バージョン
仮想化環境	Microsoft RDS	Windows Server 2022 RDS
	VMware Horizon	
	Citrix XenDesktop	
仮想化アプリケーション	Microsoft App-V	
	VMware ThinApp	
	Citrix XenApp	
備考	<p>上記は検証済みバージョンです。バージョンが記載されていない環境は、未検証環境になります。 ご利用のバージョンが異なる場合はご相談ください。</p>	